

## タウンセンターエリア内の公共空間を活用した 市民協働によるまちづくりの支援業務 委託仕様書

### 1 業務の目的

洛西ニュータウンは、まちびらきから40年以上が経過し、少子高齢化の進行や公共空間の老朽化等により地域の活力が低下している。

一方、広場や公園等の公共空間において、多様な主体との連携を一層進めることで、地域のエリア価値向上につなげる事例が近年多く見られるようになり、こうした手法は、洛西ニュータウンの再生においても有効であるとの考えから、令和5年度には洛西ニュータウン内の公共空間の利活用の方向性を示した「洛西グランドデザイン2033（以下「グランドデザイン」という。）」を策定したところである。

本事業は、広場や公園等の公共空間を拠点とした洛西ニュータウンのまちづくりの機運を高めていくため、市民、行政等の公共空間を取り巻く多様なステークホルダーをつなぎ、市民協働による公共空間の利活用促進に向けた持続可能な体制構築の伴走支援を行うものである。

なお、本事業については、グランドデザインに示す方向性を基に進めるとともに、別途委託する「タウンセンターエリアにおける公共空間再整備構想策定業務」（以下、「関連業務」という。）と密に連携すること。

### 2 委託上限額

7,500千円（消費税及び地方消費税を含む。）

### 3 業務内容

タウンセンターエリア内の広場や公園等の活用促進を前提として、市民、行政等の多様なステークホルダーの参画による「市民協働による洛西ニュータウンまちづくりプロジェクト（仮称、以下「プロジェクト」という。）」を実施するため、次の業務を行う。

#### (1) プロジェクトの立ち上げ支援

本市とともに、プロジェクトの具体的な取組手法、組織運営方法等の企画立案を行うとともに、プロジェクト参加者の募集を支援する。また、募集前後にあたっては、市民を対象としたタウンミーティングなどを行い、機運の醸成や参加の促進を図ること。

#### (2) プロジェクトの運営支援

プロジェクト参加者による公共空間の利活用によるまちづくり活動が具現化するよう、参加者を対象としたワークショップや機運醸成イベント等を行うなど、伴走支援・育成を行う。実施方法や実施回数については、受託者

の提案を踏まえつつ、本市との協議により決定すること。

なお、ワークショップ等の会場について、有償の会場を利用する際は、その使用料は受託者側で負担すること。

### **(3) 市民協働による社会実験の実施**

プロジェクト参加者の企画・運営による公共空間の利活用のプロジェクトの発表の場を1回以上企画し、円滑に実施できるよう伴走支援を行う。

なお、社会実験の実施に必要な備品や消耗品等については、社会実験の参加者が自ら用意できるものを前提とし、広報材料については受託者側で用意すること。

### **(4) 広報・アーカイブの作成**

令和7年度以降もプロジェクトが継続・発展できるよう、本事業により実施された市民協働による取組について、写真撮影、関係者へのインタビュー等の必要な取材を行い、その結果を分かりやすくとりまとめるとともに、プロジェクトのPR媒体を作成する。

### **(5) 関連業務との連携**

タウンセンターエリア公共空間再整備及び市民協働による公共空間の活用に向けて、関連業務の受託者と月に1回程度、共有・連動のための打合せ等を行い、相互連携を図るとともに、関連業務の受託者が実施するランドデザインのバージョンアップを支援すること。

### **(6) その他**

タウンセンターエリア公共空間再整備に向けて、本市が地権者等の関係者と協議を行う際は、本市の求めに応じて助言や資料作成のサポートなどの支援を行うこと。